

リニア中間駅周辺の豊かな地域環境と融合した新たなワークスタイルの創出検討会（第1回）

議事要旨

日時：令和2年11月19日（木）13:00-16:00

場所：相模原市藤野総合事務所4階会議室

1. 議事

滝澤関東地方整備局副局長から開会挨拶後、委員紹介、座長選出を経て、以下の議事について調査審議

- (1) スーパー・メガリージョンの形成及び効果の広域的拡大の促進に係る調査の概要について
- (2) テレワーク等に関するニーズ調査結果について
- (3) 首都圏の現状及びリニア開通・SMRの影響を見据えた将来シナリオについて
- (4) SMRの形成及び効果の広域的拡大の促進に関する取組について
 - 1) 藤野地区の特徴について
 - 2) 実証実験計画（素案）について
 - 3) 今後のスケジュールについて

2. 意見交換における主な内容

【地域の個性等を踏まえた取組の必要性】

- 実証実験の実施にあたり、他地域との差別化が必要。
- 他地域との差別化は、人とのつながりを活かすプログラムの充実が大事。
- テレワーク中トラブル時に東京に戻りたいというニーズがあるため、藤野は、東京から1時間でアクセスできる点がポイントとなる。
- 藤野は大半が里山である一方で、東京からのアクセスがよい点は他地域との差別化になる。さらに、新しいライフスタイルを実践する人が点在し、面白い町になっていることが差別化に繋がると考える。
- アンケートでは、保育と静かなスペースを求める意見があり、子どもを連れてくることのできるワークスポットも、差別化に繋がる。
- 藤野の特長としてSDGsをキーワードにできないか。
- 呼びかけする企業の中に品川周辺の企業が入るとすれば、藤野を訪れることでWell-beingやSDGsをキーワードに学ぶことができ、社員の人的成長にもつながる。
- 差別化について、中間駅のどこのエリアにも当てはまるように設計しつつ、藤野の特徴を反映できるとよい。
- 差別化を他中間駅エリアに適応する上では、実証実験を含む本検討のプロセスをレビューし共有することが重要。

【対象企業の考え方】

- 実証実験のターゲットを一つに絞りこむ必要はないが、メインターゲットは設定するとよい。
- ターゲットは、最初はある程度絞ることが重要。あわせて「なぜ藤野か」というブランディング

グをしないと他地域との差別化にならない。

- 働き盛りの年齢層を呼び込むことに力点を置いた方がよい。大丸有（大手町・丸の内・有楽町）の方など、藤野とは違うライフスタイルの人を呼び込むと新しい掛け合わせが生まれ、ビジネスや国際競争力でイノベーションに結びついていく。
- 地域と関わる企業研修は現状でも実施されている。日常埋込型が実証実験においてどれだけ展開できるか注目している。大丸有の企業の企画職の方に2、3日ではなく2週間程度集中して参加頂く実証実験とすれば、他地域で横展開する際に使いやすい。
- アンケート結果を見ると、社歴が浅い企業ほどテレワークと親和性が高い。IT系ベンチャー企業を対象とするとよい。
- コロナ禍をきっかけとした働き方の進化は止まらない。labor、work、playの順に働き方が進化しており、最終形態であるPlayとシュタイナー教育は親和性が高い。
- 実証実験のターゲットは子育て層がよい。実証実験期間が子どもの夏休みとなれば日中、参加者は仕事をし、子どもは遊ぶ。夜は参加者の家族同士で交流できると、子どもと一緒にplayできる働き方になる。
- 藤野は、村歌舞伎が受け継がれている地域であり、そういった伝統が根付いている。
- 伝統芸能の維持は、伝承に携わる人材育成に加えて、外部の人に関心をもってもらうことが重要。

【実証実験の内容等】

- 交通面の課題については、地域通貨を活用し友達同士で乗車することがあってもよい。
- 相模原市緑区で超小型モビリティを2台所有しており、現在は市の公用車として使用している。1台は緑区役所、もう1台は藤野総合事務所にある。藤野で超小型モビリティを活用することも、今後検討していきたい。
- 地元の保育園等と連携して、ワーケーションで訪れた方の子どもを1週間の限定で受け入れるという特例が設けられないか。
- 映像関係のロケーションとしても藤野は注目されているので、そのような単発的なイベントもプログラムの中で考えていくとよい。
- 日本の企業人はなかなか楽しめない、Playできないといわれる。楽しい要素をクリエイティブに盛り込むことが重要。
- ビジネススタイルだけでなく、ライフスタイルも捉えて実証実験プログラムを構築できるとよい。
- 働き方が変わることで暮らし方が変化することも重要である。今回の取組で働き方と暮らし方が一体となるような検証ができるとよい。
- 実証実験は先進事例と比較できる形にするとよい。
- 藤野は立地条件が良く、既に活躍されている方も多い。その中で、さらにどんな展開ができるか突き詰めていき、他地域が見習いたいと思えるような実証実験にしていきたい。

以上